

第5期

運用報告書(全体版)

米国インフレ連動国債ファンド

【2025年10月22日決算】

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

皆様の「米国インフレ連動国債ファンド」は、2025年10月22日に第5期決算を迎えたので、期中の運用状況ならびに決算のご報告を申し上げます。

今後とも、一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

SBI 岡三アセットマネジメント

〒104-0031 東京都中央区京橋2-2-1

ホームページ <https://www.sbiokasan-am.co.jp>

■口座残高など、お客さまのお取引内容についてのお問い合わせ
お取引のある販売会社へお問い合わせください。

■当運用報告書についてのお問い合わせ

03-3516-1300 (受付時間: 営業日の9:00~17:00)

当ファンドの仕組みは次の通りです。

| | | |
|--------|--|-------------------------------|
| 商品分類 | 追加型投信／海外／債券 | |
| 信託期間 | 2023年4月28日から2025年11月7日(当初2045年4月21日)までです。 | |
| 運用方針 | 米国インフレ連動国債5-10年ラダーマザーファンド(以下、「マザーファンド」といいます。)を通じて、米国が発行する米ドル建インフレ連動国債に投資を行い、投資信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行います。 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。 | |
| 主要投資対象 | 当ファンド | マザーファンドの受益証券を主要投資対象とします。 |
| | 米国インフレ連動国債5-10年ラダーマザーファンド | 米国のインフレ連動国債を主要投資対象とします。 |
| 主な投資制限 | 当ファンド | マザーファンドの受益証券への投資割合には制限を設けません。 |
| | 米国インフレ連動国債5-10年ラダーマザーファンド | 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 |
| 分配方針 | 毎年4月22日および10月22日(それぞれ休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき、収益分配を行います。 分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。繰越分を含めた経費控除後の配当等収益には、マザーファンドの配当等収益のうち投資信託財産に帰属すべき配当等収益を含むものとします。 分配金額は、分配対象収益の範囲内で、委託会社が基準価額水準等を勘案して決定します。 委託会社の判断により、収益分配を行わないことがあります。 | |

○設定以来の運用実績

| 決算期 | 基準価額 | | | | FTSE米国インフレ連動債券インデックス(5-10年)(USD)〔円換算後〕 (参考指数) | 債券組入比率 | 債券先物比率 | 純資産額 |
|---------------------|-------------|--------|----------|-------------|--|--------|--------|----------|
| | (分配落) | 税分 | 込配 み金 | 期騰 落率 | | | | |
| (設定日) 2023年4月28日 | 円 10,000 | 円 — | % — | % 100.00 | ポイント — | % — | % — | 百万円 1 |
| 1期(2023年10月23日) | 10,487 | 0 | 4.9 | 105.30 | 5.3 | 98.1 | — | 11 |
| 2期(2024年4月22日) | 11,205 | 0 | 6.8 | 113.00 | 7.3 | 97.0 | — | 31 |
| 3期(2024年10月22日) | 11,485 | 0 | 2.5 | 116.13 | 2.8 | 97.0 | — | 42 |
| 4期(2025年4月22日) | 10,872 | 0 | △ 5.3 | 109.50 | △ 5.7 | 93.7 | — | 50 |
| 5期(2025年10月22日) | 12,236 | 0 | 12.5 | 125.64 | 14.7 | — | — | 73 |

(注) 基準価額および分配金(税引前)は1万口当たり、基準価額の騰落率は分配金(税引前)込み。

(注) 設定日の基準価額および純資産総額は当初設定元本。

(注) FTSE米国インフレ連動債券インデックス(5-10年)(USD)〔円換算後〕は当ファンドの参考指数であり、ベンチマークではありません。FTSE米国インフレ連動債券インデックス(5-10年)(USD)〔円換算後〕は、設定日を100として当社が指数化したものです。当該日前営業日の現地終値に為替レート(対顧客電信売買相場の当日(東京)の仲値)を乗じて当社が算出しております。(以下同じ。)

(注) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、債券組入比率および債券先物比率は実質比率を記載しております。

(注) 債券先物比率=買建比率-売建比率。

米国インフレ連動国債ファンド(以下、「当ファンド」といいます。)の開発は、SBI岡三アセットマネジメント株式会社のみにより行われています。London Stock Exchange Group plcおよびそのグループ会社(以下、総称して「LSEグループ」といいます。)は、いかなる形においても、当ファンドとの関係を有さず、またスポンサー、保証、販売もしくは販売促進を行うものではありません。FTSE Russellは、特定のLSEグループ会社の取引名です。

FTSE米国インフレ連動債券インデックス(5-10年)(USD)(以下、「本指数」といいます。)にかかるすべての権利は、指数を保有する該当LSEグループ会社に帰属します。「FTSE®」は、該当するLSEグループ会社の商標であり、ライセンス契約に基づき、他のあらゆるLSEグループ会社が使用します。

本指数は、FTSE International Limited、FTSE Fixed Income, LLCまたはその関連会社、代理人もしくはパートナーによって、またはこれらからの委託を受けて算出されています。LSEグループは、(a)本指数の使用、本指数への依拠もしくは本指数の誤り、または(b)当ファンドへの投資もしくはその運用から生じる、いかなるものに対する責任も負うものではありません。LSEグループは、当ファンドから得られる結果、またはSBI岡三アセットマネジメント株式会社による提供の目的に対する本指数の適切性のいずれについても、主張、予想、保証、表明を行わないものとします。

○当期中の基準価額と市況等の推移

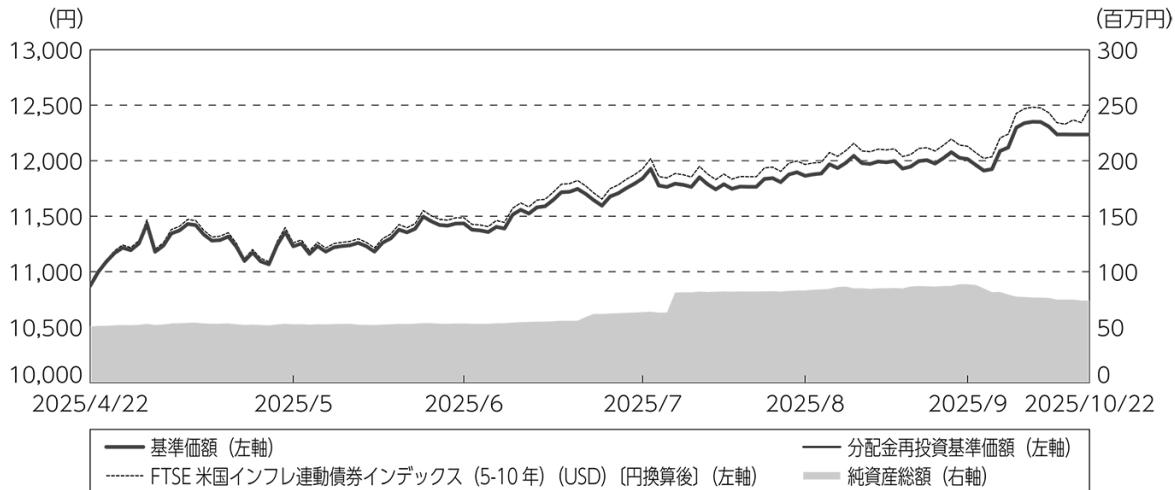
| 年 月 日 | 基 準 価 額 | FTSE米国インフレ連動債券 インデックス (5-10年) (U S D) [円換算後] | | | 債組入比率 | 債先物比率 |
|----------------------|----------|--|-------------|------|--------|-------|
| | | 騰 | 落 | 率 | | |
| (期 首) 2025年4月22日 | 円 10,872 | % — | ポイント 109.50 | % — | % 93.7 | % — |
| 4月末 | 11,194 | 3.0 | 112.98 | 3.2 | 94.7 | — |
| 5月末 | 11,229 | 3.3 | 113.41 | 3.6 | 94.1 | — |
| 6月末 | 11,435 | 5.2 | 115.69 | 5.7 | 94.4 | — |
| 7月末 | 11,841 | 8.9 | 120.12 | 9.7 | 94.0 | — |
| 8月末 | 11,864 | 9.1 | 120.52 | 10.1 | 95.9 | — |
| 9月末 | 12,015 | 10.5 | 122.17 | 11.6 | 94.8 | — |
| (期 末) 2025年10月22日 | 12,236 | 12.5 | 125.64 | 14.7 | — | — |

(注) 謄落率は期首比。

運用経過

期中の基準価額等の推移

(2025年4月23日～2025年10月22日)



期 首 : 10,872円

期 末 : 12,236円 (既払分配金(税引前) : 0円)

騰落率 : 12.5% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 参考指数は、FTSE米国インフレ連動債券インデックス (5-10年) (USD) [円換算後] です。

(注) 分配金再投資基準価額および参考指数は、期首(2025年4月22日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドの主要投資対象である「米国インフレ連動国債5-10年ラダーマザーファンド」における主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

(主なプラス要因)

- ・保有債券からの利息収入がプラス要因となりました。
- ・保有債券の利回り低下による価格の上昇がプラス要因となりました。
- ・米国消費者物価指数(CPI)の上昇に伴う保有債券の元本増価がプラス要因となりました。
- ・米ドルの対円での上昇がプラス要因となりました。

(主なマイナス要因)

- ・特にありません。

投資環境

(2025年4月23日～2025年10月22日)

米国のインフレ連動国債市場は、利回りが低下（債券価格が上昇）しました。米連邦準備制度理事会（F R B）の利下げを受けて、全般に買いが優勢な展開となりました。

為替市場については、米ドルが対円で上昇しました。日米の堅調な株価動向等を背景に、市場参加者のリスク志向が強まり、米ドルの対円での買いが優勢となりました。

当ファンドのポートフォリオ

(2025年4月23日～2025年10月22日)

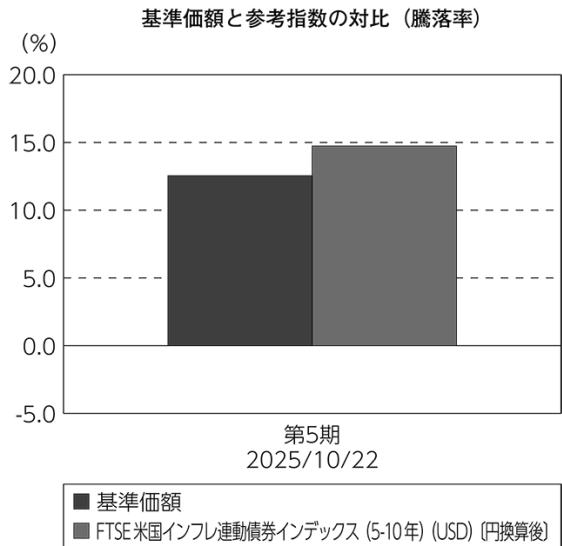
「米国インフレ連動国債5-10年ラダーマザーファンド」の受益証券の組入比率を高位に保ちましたが、2025年10月15日に当ファンドの繰上償還が決定したことから、その後は受益証券の組入比率をゼロとし、2025年11月7日の償還日まで短期金融商品等による安定運用を行うこととしました。

「米国インフレ連動国債5-10年ラダーマザーファンド」においては、残存期間が約5年から約10年までの米国インフレ連動国債を、各期間が概ね等金額となるよう投資し、信託期間を通じてポートフォリオ全体の平均残存期間が概ね一定となるよう、銘柄入換等の調整を行いました。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2025年4月23日～2025年10月22日)

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。右記のグラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

(注) 参考指数は、FTSE米国インフレ連動債券インデックス (5-10年) (USD) (円換算後) です。

分配金

(2025年4月23日～2025年10月22日)

当期の分配金につきましては、分配方針に則り、基準価額水準等を勘案して、以下のとおりといたしました。なお、収益分配に充てなかった留保益につきましては、2025年11月7日の当ファンドの償還日まで、短期金融商品等による安定運用を行う方針です。

(単位：円、1万口当たり・税引前)

| 項目 | 第5期 |
|-----------|----------------------------|
| | 2025年4月23日～ 2025年10月22日 |
| 当期分配金 | — |
| (対基準価額比率) | —% |
| 当期の収益 | — |
| 当期の収益以外 | — |
| 翌期繰越分配対象額 | 2,236 |

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの收益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

2025年11月7日の当ファンドの償還日まで、短期金融商品等による安定運用を行う方針です。

○ 1万口当たりの費用明細

(2025年4月23日～2025年10月22日)

| 項 目 | 当 期 | | 項 目 の 概 要 |
|---------------------------|---------|------------|---|
| | 金 額 | 比 率 | |
| (a) 信 託 報 酬 | 円 27 | % 0.234 | (a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 |
| (投 信 会 社) | (16) | (0.138) | 委託した資金の運用の対価 |
| (販 売 会 社) | (10) | (0.083) | 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 |
| (受 託 会 社) | (2) | (0.014) | 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価 |
| (b) そ の 他 費 用 | 2 | 0.021 | (b)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 |
| (保 管 費 用) | (2) | (0.013) | 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 |
| (監 査 費 用) | (1) | (0.007) | 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 |
| (そ の 他) | (0) | (0.001) | その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用 |
| 合 計 | 29 | 0.255 | |
| 期中の平均基準価額は、11,596円です。 | | | |

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

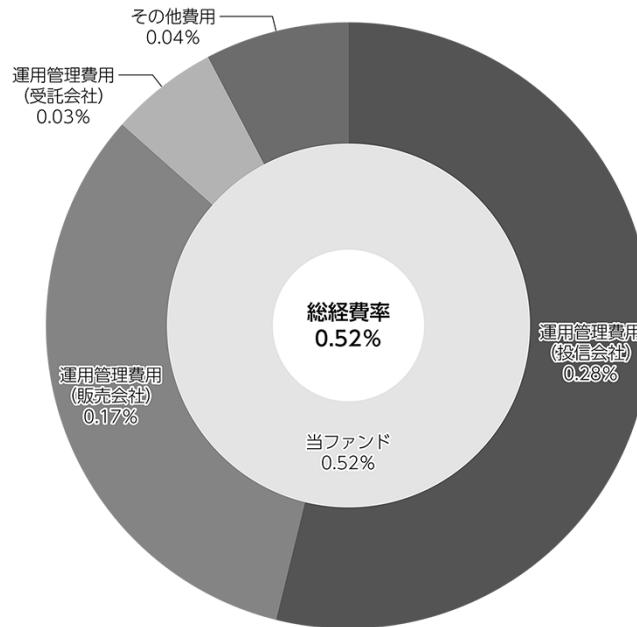
(注) その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.52%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2025年4月23日～2025年10月22日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

| 銘柄 | 設定 | | 解約 | |
|---------------------------|--------------|--------------|--------------|--------------|
| | 口数 | 金額 | 口数 | 金額 |
| 米国インフレ連動国債5-10年ラダーマザーファンド | 千口 24,856 | 千円 34,510 | 千口 63,626 | 千円 91,606 |

(注) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2025年4月23日～2025年10月22日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2025年10月22日現在)

2025年10月22日現在、有価証券等の組入れはございません。

親投資信託残高

| 銘柄 | 期首(前期末) | |
|---------------------------|---------|--------|
| | 口数 | 千円 |
| 米国インフレ連動国債5-10年ラダーマザーファンド | | 38,770 |

(注) 口数の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2025年10月22日現在)

| 項目 | 当期末 | |
|--------------|--------------|------------|
| | 評価額 | 比率 |
| コール・ローン等、その他 | 千円 75,058 | % 100.0 |
| 投資信託財産総額 | 75,058 | 100.0 |

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2025年10月22日現在)

| 項目 | 当期末 |
|-----------------|-------------|
| | 円 |
| (A) 資産 | 75,058,883 |
| コール・ローン等 | 75,058,059 |
| 未収利息 | 824 |
| (B) 負債 | 1,072,328 |
| 未払解約金 | 912,582 |
| 未払信託報酬 | 155,419 |
| その他未払費用 | 4,327 |
| (C) 純資産総額(A-B) | 73,986,555 |
| 元本 | 60,464,222 |
| 次期繰越損益金 | 13,522,333 |
| (D) 受益権総口数 | 60,464,222口 |
| 1万口当たり基準価額(C/D) | 12,236円 |

(注) 計算期間末における1口当たりの純資産額は、1,2236円です。

(注) 当ファンドの期首元本額は46,500,752円、期中追加設定元本額は36,076,341円、期中一部解約元本額は22,112,871円です。

○損益の状況 (2025年4月23日～2025年10月22日)

| 項目 | 当期 |
|------------------|--------------|
| | 円 |
| (A) 配当等収益 | 4,967 |
| 受取利息 | 4,967 |
| (B) 有価証券売買損益 | 5,937,020 |
| 売買益 | 7,345,351 |
| 売買損 | △ 1,408,331 |
| (C) 信託報酬等 | △ 159,746 |
| (D) 当期損益金(A+B+C) | 5,782,241 |
| (E) 前期繰越損益金 | △ 1,413,495 |
| (F) 追加信託差損益金 | 9,153,587 |
| (配当等相当額) | (3,602,020) |
| (売買損益相当額) | (5,551,567) |
| (G) 計(D+E+F) | 13,522,333 |
| (H) 収益分配金 | 0 |
| 次期繰越損益金(G+H) | 13,522,333 |
| 追加信託差損益金 | 9,153,587 |
| (配当等相当額) | (3,634,466) |
| (売買損益相当額) | (5,519,121) |
| 分配準備積立金 | 4,368,746 |

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は、期末の評価換算によるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定した価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 収益分配金

| 決算期 | 第5期 |
|------------------------------|-------------|
| (a) 配当等収益(費用控除後) | 292,140円 |
| (b) 有価証券等損益額(費用控除後、繰越欠損金補填後) | 3,263,472円 |
| (c) 信託約款に規定する収益調整金 | 9,153,587円 |
| (d) 信託約款に規定する分配準備積立金 | 813,134円 |
| 分配対象収益(a+b+c+d) | 13,522,333円 |
| 分配対象収益(1万口当たり) | 2,236円 |
| 分配金額 | 0円 |
| 分配金額(1万口当たり) | 0円 |

<お知らせ>

・当ファンドは、投資信託財産の純資産総額が投資信託約款の線上償還に関する規定に定める30億円を下回る状態が継続しており、また残高の大幅な増加も見込みにくくと推測されたことから、投資信託契約を解約し、受益者の皆さまからお預かりした運用資産をお返しすることが受益者の皆さまにとって有利であると考え、信託終了(線上償還)の手続きを行わせていただきました。

上記の内容につきまして、2025年9月19日現在の受益者の方を対象とし、2025年10月15日に書面決議を行いました。その結果、議決権を行使することができる受益者の議決権の3分の2以上の賛成があったことから、2025年11月7日に信託終了(線上償還)することとなりました。

(2025年10月22日現在)

○(参考情報) 親投資信託の組入資産の明細

<米国インフレ連動国債5-10年ラダーマザーファンド>

下記は、米国インフレ連動国債5-10年ラダーマザーファンド全体(293,580千口)の内容です。

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

| 区分 | 当 期 末 | | | | | | | |
|------|---------------|---------------|---------------|-----------|-------------|-----------|--------|--------|
| | 額面金額 | 評 価 額 | | 組入比率 | うちBB格以下組入比率 | 残存期間別組入比率 | | |
| | | 外貨建金額 | 邦貨換算金額 | | | 5年以上 | 2年以上 | 2年未満 |
| アメリカ | 千米ドル 2,532 | 千米ドル 2,723 | 千円 413,216 | % 96.4 | % — | % 96.4 | % — | % — |
| 合 計 | 2,532 | 2,723 | 413,216 | 96.4 | — | 96.4 | — | — |

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、当ファンドが組み入れているマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

| 銘 柄 | 当 期 末 | | | | | 償還年月日 | |
|------|-----------------------|-------|-------|--------|---------|-----------|--|
| | 利 率 | 額面金額 | 評 価 額 | | | | |
| | | | 外貨建金額 | 邦貨換算金額 | 千円 | | |
| アメリカ | % | 千米ドル | 千米ドル | 千円 | | | |
| 国債証券 | TSY INFL IX N/B 0.125 | 0.125 | 232 | 272 | 41,277 | 2031/1/15 | |
| | TSY INFL IX N/B 0.125 | 0.125 | 240 | 271 | 41,260 | 2031/7/15 | |
| | TSY INFL IX N/B 0.125 | 0.125 | 252 | 272 | 41,314 | 2032/1/15 | |
| | TSY INFL IX N/B 0.625 | 0.625 | 257 | 272 | 41,351 | 2032/7/15 | |
| | TSY INFL IX N/B 1.125 | 1.125 | 257 | 272 | 41,300 | 2033/1/15 | |
| | TSY INFL IX N/B 1.375 | 1.375 | 258 | 272 | 41,345 | 2033/7/15 | |
| | TSY INFL IX N/B 1.75 | 1.75 | 256 | 272 | 41,373 | 2034/1/15 | |
| | TSY INFL IX N/B 1.875 | 1.875 | 258 | 272 | 41,286 | 2034/7/15 | |
| | TSY INFL IX N/B 1.875 | 1.875 | 266 | 272 | 41,374 | 2035/7/15 | |
| | TSY INFL IX N/B 2.125 | 2.125 | 256 | 272 | 41,332 | 2035/1/15 | |
| 合 計 | | | | | 413,216 | | |

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

米国インフレ連動国債5-10年ラダーマザーファンド
第4期 運用状況のご報告
決算日：2025年7月22日

当ファンドの仕組みは次の通りです。

| | |
|--------|---|
| 運用方針 | 米国が発行する米ドル建インフレ連動国債に投資を行い、投資信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行います。 |
| 主要投資対象 | 米国のインフレ連動国債を主要投資対象とします。 |
| 主な投資制限 | 外貨建資産の投資割合には制限を設けません。 |

○設定以来の運用実績

| 決算期 | 基準価額 | FTSE米国インフレ連動債券インデックス(5-10年)(USD)[円換算後] | | 債組入比率 | 債先物比率 | 純資産額 |
|---------------------|-------------|--|----------------|--------|--------|------------|
| | | 期騰落率 | 中率 | | | |
| (設定日) 2021年5月21日 | 円 10,000 | % — | ポイント 100.00 | % — | % — | 百万円 49 |
| 1期(2022年7月22日) | 12,136 | 21.4 | 122.28 | 22.3 | 99.4 | — 1,170 |
| 2期(2023年7月24日) | 12,183 | 0.4 | 123.30 | 0.8 | 99.5 | — 1,106 |
| 3期(2024年7月22日) | 13,891 | 14.0 | 141.09 | 14.4 | 98.8 | — 1,054 |
| 4期(2025年7月22日) | 13,797 | △ 0.7 | 140.13 | △ 0.7 | 96.5 | — 469 |

(注) 基準価額は1万口当たり。

(注) 設定日の基準価額および純資産総額は当初設定元本。

(注) FTSE米国インフレ連動債券インデックス(5-10年)(USD)[円換算後]は当ファンドの参考指数であり、ベンチマークではありません。

FTSE米国インフレ連動債券インデックス(5-10年)(USD)[円換算後]は設定日を100として当社が指指数化したものです。当該目前営業日の現地終値に為替レート(対顧客電信売買相場の当日(東京)の仲値)を乗じて当社が算出しております。(以下同じ)

(注) 債券先物比率=買建比率-売建比率。

米国インフレ連動国債5-10年ラダーマザーファンド(以下、「当ファンド」といいます。)の開発は、SBI岡三アセットマネジメント株式会社のみにより行われています。London Stock Exchange Group plcおよびそのグループ会社(以下、総称して「LSEグループ」といいます。)は、いかなる形においても、当ファンドとの関係を有さず、またスポンサー、保証、販売もしくは販売促進を行うものではありません。FTSE Russellは、特定のLSEグループ会社の取引名です。

FTSE米国インフレ連動債券インデックス(5-10年)(USD)(以下、「本指数」といいます。)にかかるすべての権利は、指数を保有する該当LSEグループ会社に帰属します。「FTSE®」は、該当するLSEグループ会社の商標であり、ライセンス契約に基づき、他のあらゆるLSEグループ会社が使用します。

本指数は、FTSE International Limited、FTSE Fixed Income, LLCまたはその関連会社、代理人もしくはパートナーによって、またはこれらからの委託を受けて算出されています。LSEグループは、(a) 本指数の使用、本指数への依拠もしくは本指数の誤り、または(b) 当ファンドへの投資もしくはその運用から生じる、いかなるものに対する責任も負うものではありません。LSEグループは、当ファンドから得られる結果、またはSBI岡三アセットマネジメント株式会社による提供の目的に対する本指数の適切性のいずれについても、主張、予想、保証、表明を行わないものとします。

○当期中の基準価額と市況等の推移

| 年 月 日 | 基 準 価 額 | FTSE米国インフレ連動債券 インデックス (5-10年) (U S D) [円換算後] (参考指数) | | 債組入比率 | 債先物比率 |
|---------------------|----------|--|-------------|-------|--------|
| | | 騰 | 落 | | |
| (期 首) 2024年7月22日 | 円 13,891 | % — | ポイント 141.09 | % — | % 98.8 |
| 7月末 | 13,493 | △2.9 | 137.06 | △2.9 | 99.1 |
| 8月末 | 13,065 | △5.9 | 132.68 | △6.0 | 98.7 |
| 9月末 | 13,035 | △6.2 | 132.46 | △6.1 | 98.2 |
| 10月末 | 13,700 | △1.4 | 139.29 | △1.3 | 99.4 |
| 11月末 | 13,457 | △3.1 | 136.61 | △3.2 | 97.4 |
| 12月末 | 13,860 | △0.2 | 140.73 | △0.3 | 99.1 |
| 2025年1月末 | 13,764 | △0.9 | 139.71 | △1.0 | 97.6 |
| 2月末 | 13,594 | △2.1 | 137.96 | △2.2 | 97.2 |
| 3月末 | 13,736 | △1.1 | 139.49 | △1.1 | 96.1 |
| 4月末 | 13,173 | △5.2 | 133.52 | △5.4 | 95.6 |
| 5月末 | 13,221 | △4.8 | 134.04 | △5.0 | 95.5 |
| 6月末 | 13,473 | △3.0 | 136.72 | △3.1 | 95.6 |
| (期 末) 2025年7月22日 | 13,797 | △0.7 | 140.13 | △0.7 | 96.5 |

(注) 謄落率は期首比。

運用経過

期中の基準価額等の推移

(2024年7月23日～2025年7月22日)



(注) 参考指標は、FTSE米国インフレ連動債券インデックス (5-10年) (USD) [円換算後] です。

(注) 参考指標は、期首 (2024年7月22日) の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドにおける主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

(主なプラス要因)

- 保有債券からの利息収入がプラス要因となりました。
- 米国消費者物価指数 (CPI) の上昇に伴う保有債券の元本増価がプラス要因となりました。
- 保有債券の利回り低下による債券価格の上昇がプラス要因となりました。

(主なマイナス要因)

- 米ドルの対円での下落がマイナス要因となりました。

投資環境

(2024年7月23日～2025年7月22日)

米国インフレ連動国債市場は、短期ゾーンを中心に利回りが低下（債券価格が上昇）しました。米連邦準備制度理事会 (F R B) による利下げを受けて、買いが優勢な展開となりました。また、トランプ政権による大規模な関税措置や、拡張的な財政政策が先行きの物価上昇を促すと見られたことも、市場の期待インフレ率の高まりを通じて、インフレ連動国債の利回り低下要因となりました。

為替市場については、米ドルが対円で下落しました。F R B が利下げに動いた一方で、日銀が利上げを実施し、日本の金利差縮小が意識されたことから、米ドルの対円での売りが優勢となりました。また、政策運営の不確実性が高まるトランプ政権への不信感を背景に、米国の資本市場からの資金流出が懸念されたことなども、米ドルの対円での下落要因となりました。

当ファンドのポートフォリオ

(2024年7月23日～2025年7月22日)

残存期間が約5年から約10年までの米国インフレ連動国債を、各期間が概ね等金額となるように投資し、残存期間が概ね一定となるよう、銘柄入換等の調整を行いました。債券の組入比率は概ね高位を維持し、利息収入等の確保に努めました。

組入外貨建資産につきましては、運用の基本方針通り為替ヘッジは行いませんでした。

今後の運用方針

米国インフレ連動国債市場については、利回りが低下する展開を予想します。トランプ政権による政策運営の不確実性から、先行きの景気減速が警戒されるなか、F R Bは早晩利下げに動くと考え、債券市場全般に買いが優勢となることを見込んでいます。また、関税措置や移民抑制などの政策が、今後の物価上昇圧力になると思われるることも、市場の期待インフレ率の高まりを通じて、インフレ連動国債の利回り低下要因になると見ています。

為替市場については、米ドルが対円で底堅く推移すると予想します。今後もF R Bの利下げが想定される一方、日銀は利上げに動く見通しであり、先行きの両国の金利差は縮小すると思われます。ただ、長期的な経済成長力等を勘案すると、今後も日本と米国の金利差は相応に維持されると考えられることもあり、引き続き米ドルの対円相場は下支えされると見込んでいます。また、米国の金融市场の規模や流動性を勘案すると、トランプ大統領を嫌気した資金流出は長続きせず、米国市場への警戒感の高まりは一時的なものと思われます。このため、米国への投資資金の流入は早晩回復し、米ドルを対円で買う動きが強まる可能性も見込んでいます。

このような状況下、当ファンドの運用においては、残存期間が約5年から約10年までの米国インフレ連動国債を、各期間が概ね等金額となるように投資し、残存期間が概ね一定となるよう、銘柄入換等の調整を行います。また、債券の組入比率は概ね高位を維持し、組入外貨建資産につきましては、原則として為替ヘッジを行わない方針です。

○1万口当たりの費用明細

(2024年7月23日～2025年7月22日)

| 項目 | 当期 | | 項目の概要 |
|-----------------------|-----|---------|---|
| | 金額 | 比率 | |
| (a) その他の費用 | 円 6 | % 0.042 | (a) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 |
| (保 管 費 用) | (6) | (0.041) | 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 |
| (そ の 他) | (0) | (0.001) | その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用 |
| 合 計 | 6 | 0.042 | |
| 期中の平均基準価額は、13,464円です。 | | | |

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入しております。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しております。

○売買及び取引の状況

(2024年7月23日～2025年7月22日)

公社債

| | | | 買付額 | 売付額 |
|--------|------|------|---------------|---------------|
| 外 国 | アメリカ | 国債証券 | 千米ドル 1,224 | 千米ドル 4,998 |

(注) 金額は受渡代金。（経過利子分は含まれておりません。）

(注) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2024年7月23日～2025年7月22日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

(2025年7月22日現在)

○組入資産の明細

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

| 区分 | 当 期 末 | | | | | | | |
|------|-------|-------|---------|------|-------------|-----------|------|------|
| | 額面金額 | 評 価 額 | | 組入比率 | うちBB格以下組入比率 | 残存期間別組入比率 | | |
| | | 外貨建金額 | 邦貨換算金額 | | | 5年以上 | 2年以上 | 2年未満 |
| アメリカ | 千米ドル | 千米ドル | 千円 | % | % | % | % | % |
| | 2,886 | 3,074 | 453,436 | 96.5 | — | 86.8 | 9.7 | — |
| 合 計 | 2,886 | 3,074 | 453,436 | 96.5 | — | 86.8 | 9.7 | — |

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

| 銘 柄 | 当 期 末 | | | | | |
|------|-----------------------|-------|-------|--------|---------|-----------|
| | 利 率 | 額面金額 | 評 価 額 | | 償還年月日 | |
| | | | 外貨建金額 | 邦貨換算金額 | | |
| アメリカ | % | 千米ドル | 千米ドル | 千円 | | |
| 国債証券 | TSY INFL IX N/B 0.125 | 0.125 | 262 | 309 | 45,682 | 2030/7/15 |
| | TSY INFL IX N/B 0.125 | 0.125 | 270 | 309 | 45,703 | 2031/1/15 |
| | TSY INFL IX N/B 0.125 | 0.125 | 279 | 308 | 45,553 | 2031/7/15 |
| | TSY INFL IX N/B 0.125 | 0.125 | 293 | 308 | 45,515 | 2032/1/15 |
| | TSY INFL IX N/B 0.625 | 0.625 | 298 | 308 | 45,422 | 2032/7/15 |
| | TSY INFL IX N/B 1.125 | 1.125 | 298 | 307 | 45,345 | 2033/1/15 |
| | TSY INFL IX N/B 1.375 | 1.375 | 298 | 306 | 45,177 | 2033/7/15 |
| | TSY INFL IX N/B 1.75 | 1.75 | 295 | 305 | 45,071 | 2034/1/15 |
| | TSY INFL IX N/B 1.875 | 1.875 | 298 | 305 | 45,011 | 2034/7/15 |
| | TSY INFL IX N/B 2.125 | 2.125 | 295 | 304 | 44,952 | 2035/1/15 |
| 合 計 | | | | | 453,436 | |

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

| 項 目 | 当 期 末 | |
|--------------|---------------|-----------|
| | 評 価 額 | 比 率 |
| 公社債 | 千円 453,436 | % 96.5 |
| コール・ローン等、その他 | 16,509 | 3.5 |
| 投資信託財産総額 | 469,945 | 100.0 |

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(注) 当期末における外貨建純資産(455,673千円)の投資信託財産総額(469,945千円)に対する比率は97.0%です。

(注) 外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、邦貨換算レートは1米ドル=147.47円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2025年7月22日現在)

| 項目 | 当期末 |
|-----------------|--------------|
| | 円 |
| (A) 資産 | 469,945,799 |
| コレ・ローン等 | 16,426,922 |
| 公社債(評価額) | 453,436,241 |
| 未収利息 | 82,636 |
| (B) 負債 | 0 |
| (C) 純資産総額(A-B) | 469,945,799 |
| 元本 | 340,622,769 |
| 次期繰越損益金 | 129,323,030 |
| (D) 受益権総口数 | 340,622,769口 |
| 1万口当たり基準価額(C/D) | 13,797円 |

- (注) 計算期間末における1口当たりの純資産額は、1,3797円です。
 (注) 当ファンドの期首元本額は759,136,047円、期中追加設定元本額は76,165,127円、期中一部解約元本額は494,678,405円です。
 (注) 当親ファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額は、以下の通りです。
 米国インフレ連動国債5-10年ラダーファンド(為替ヘッジあり)(適格機関投資家専用) 298,953,224円
 米国インフレ連動国債ファンド 41,669,545円

○損益の状況 (2024年7月23日～2025年7月22日)

| 項目 | 当期 |
|------------------|---------------|
| | 円 |
| (A) 配当等収益 | 4,749,518 |
| 受取利息 | 4,749,518 |
| (B) 有価証券売買損益 | △ 39,211,543 |
| 売買益 | 34,775,895 |
| 売買損 | △ 73,987,438 |
| (C) その他費用等 | △ 246,918 |
| (D) 当期損益金(A+B+C) | △ 34,708,943 |
| (E) 前期繰越損益金 | 295,350,695 |
| (F) 追加信託差損益金 | 25,432,873 |
| (G) 解約差損益金 | △ 156,751,595 |
| (H) 計(D+E+F+G) | 129,323,030 |
| 次期繰越損益金(H) | 129,323,030 |

- (注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は、期末の評価換算によるものを含みます。
 (注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定した価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
 (注) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

〈お知らせ〉

- ・投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、投資信託約款の記載変更を行いました。(実施日: 2025年4月1日)